

〈記載例－資材置場〉

候補地比較検討表（露天施設用）

項目	地区名		候補地 A		候補地 B		候補地 C	
			(地区)	評価	(地区)	評価	(地区)	評価
計画区域の面積 (うち農地面積)			1,000㎡(1,000㎡) 変更後の土地利用目的に十分な面積である。	○	1,300㎡(1,230㎡) 変更後の土地利用目的に十分な面積である。	○	800㎡(800㎡) 変更後の土地利用目的に十分な面積である。	○
用途地域・農振農用地区域			都市計画区域外・農振農用地区域	×	都市計画区域用途白地地域・農振農用地区域	×	都市計画区域用途白地地域・農振農用地区域外	○
位置			事務所から南へ約300mの位置にあり、○○池の隣接地に位置する。	○	事務所から南東へ約500mの位置にあり、○○インターチェンジから南へ1kmの所に位置し、高速道路沿いにある。	○	事務所から北へ約1kmの位置にあり、○○小学校から北に約800mの位置にある。	△
道路・交通			西側は県道○○線に接しており、交通の便は良い。	○	北側は市道△△線に接しており、交通の便は良い。	○	西側は市道△△線に接しているが、幅員がないため、車両の進入に支障が出る。	×
事業所からの距離			(事務所から約300mの所にあり、管理しやすい場所にある。)	○	(事務所から約500mの所にあり、管理しやすい場所にある。)	○	(事務所から約1kmの所にあり、他の候補地と比較すると、不便である。)	△
土地利用の現況			休耕田になっている。	○	水田に供している。	△	水田に供している。	△
農業公共投資の実施状況			ほ場整備事業は実施されていない。	○	ほ場整備事業は実施されていない。	○	ほ場整備事業は実施されていない。	○
排水計画			雨水は、自然流下により西側農業用排水路へ放流。 汚水の発生はなし。	○	雨水は、ため柵を設置し、南側農業用排水路へ放流。 汚水の発生はなし。	○	雨水は、ため柵を設置し、東側農業用排水路へ放流。 汚水の発生はなし。	○
農道・水路への措置			付替え等の措置なし。	○	一部、水路の付替えが必要。	△	付替え等の措置なし。	○
生活環境への影響			車両の出入りによる周辺住民への影響はないものと考えられる。	○	高速道路を挟んで東側の地域は、宅地化が進められており、車両の出入りによる周辺住民への少なからず影響が考えられる。	△	小学校が近くにあるため、車両の通行による周辺への支障がある。	×
地元地権者の同意見込み			地権者の同意見込みあり。	○	地権者の同意見込みあり。	○	地権者の同意見込みあり。	○
総合評価			当候補地は、県道及びため池に接しており、事務所からも近く管理しやすい場所にある。周辺への影響もないものと考えられ、候補地として最も適しているものと考えられる。	○	当候補地は、市道に接して、集団農地の縁辺部にあるものの、周辺の地域住民への影響が少なからず考えられ、候補地として適しているとはいえない。	△	当候補地は、市道に接しているものの、車両の進入に支障があり、通行についても、周辺の地域住民への影響があるものと考えられ、候補地として適しているとはいえない。	×